

問1 アフリカ大陸における、緯度0度の線である赤道付近から南北へ離れていく際の気候の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

- |  |  |                                    |   |
|--|--|------------------------------------|---|
| 1. 赤道直下の熱帯雨林気候から、南北に進むにつれて乾燥帯へと広がっていく。 | 2. 赤道直下の乾燥帯から、南北に進むにつれて熱帯雨林気候へと広がっていく。 | 3. 赤道直下の温帯から、南北に向かって寒冷な気候へと変化していく。 | 4. 赤道直下のツンドラ気候から、南北に向かって地中海性気候へと変化していく。 |
|--|--|------------------------------------|---|

問2 2019年のカメルーンの輸出統計では、原油が39.3%、木材が14.1%、カカオが12.3%となっており、上位3品目だけで輸出額全体の約3分の2を占めています。このような経済状況にある国々が共通して抱える課題として、最も適切なものはどれですか。（2022年 大分県公立入試 類似）

- |  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 1. 国際価格の変動や作物の不作が、国全体の経済に深刻な影響を及ぼしやすい。 | 2. 特定の製品に特化しているため、工業化が進みやすく、景気が安定しやすい。 | 3. 輸出を優先することで、国内の主食となる農産物の自給率が飛躍的に高まる。 | 4. 先進国との公平な貿易が維持されるため、農家の所得が天候に関わらず安定する。 |
|--|--|--|--|

問3 サハラ砂漠以南のアフリカにおいて、2008年から2016年にかけて、米の生産量が約1425万トンから約3263万トンへと倍増しました。この生産量増大の主な要因として最も適切な説明はどれですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 品種改良などによる単位面積あたりの収穫量の向上に加え、栽培面積が大幅に拡大したこと。 | 2. 栽培面積は減少したものの、飛躍的な技術革新によって単位面積あたりの収穫量のみが大幅に増えたこと。 | 3. 米の需要が減少したため、栽培面積を縮小させて高付加価値な商品作物の栽培に転換したこと。 | 4. 農作物の輸出を制限し、国内向けの生産を縮小させることで、統計上の生産効率を向上させたこと。 |
|---|---|--|--|

問4 サバナ気候の地域における人々の生活や自然環境について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 三重県公立入試 類似）

- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 1. 雨季には背の高い草が茂る草原となり、乾季になると野生動物が水や食料を求めて移動する。 | 2. 一年中強い日差しと激しい雨が続くため、高床式の住居で風通しを良くして暮らしている。 | 3. 年間降水量が非常に少なく樹木が育たないため、オアシス周辺で小麦や綿花を栽培している。 | 4. 夏は乾燥して日差しが強いため、水分を逃さない工夫をしたオリブなどの果樹栽培が盛んである。 |
|---|--|---|---|

問5 日本がアフリカ諸国との外交において基本方針としている、アフリカの国々が自らの責任で主体的に国づくりを行うことを尊重する姿勢を、一般的に何と呼びますか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

- |                  |           |            |                    |
|------------------|-----------|------------|--------------------|
| 1. 自助努力（オーナーシップ） | 2. ブロック経済 | 3. 排他的経済水域 | 4. 単一文化（モノカルチャー）経済 |
|------------------|-----------|------------|--------------------|

問6 アフリカ大陸の北東端に位置し、北は地中海、東は紅海に面している国の名称として正しいものを選択してください。（2020年 和歌山公立入試 類似）

- |         |             |           |        |
|---------|-------------|-----------|--------|
| 1. エジプト | 2. 南アフリカ共和国 | 3. ナイジェリア | 4. ケニア |
|---------|-------------|-----------|--------|

問7 エチオピアを含むアフリカの多くの国々では、特定の農産物や鉱産資源の輸出に依存する経済構造が見られます。このような経済の仕組みと、それが抱える課題について述べた文として正しいものを選びなさい。（2026年 群馬県公立入試 類似）

- |  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| 1. モノカルチャー経済と呼ばれ、天候不順や国際価格の変動によって国の経済が不安定になりやすい。 | 2. 加工貿易と呼ばれ、原材料を輸入して製品を輸出するため、付加価値の高い経済発展が可能である。 | 3. 持続可能な経済と呼ばれ、特定の産品に特化することで環境負荷を抑えながら安定した収益を得ている。 | 4. 地産地消型経済と呼ばれ、自国で生産した農作物をすべて国内で消費することで、国際社会の影響を排除している。 |
|--|--|--|---|

問8 アフリカ諸国が、かつてのアフリカ統一機構（OAU）から「アフリカ連合（AU）」へと組織を再編し、地域統合を推進している背景や目的として最も適切なものはどれですか。（2023年 奈良県公立入試 類似）

- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 1. アフリカ州全体でまとまって紛争の解決や経済発展に取り組み、国際社会での影響力を高めるため | 2. 特定の資源を持つ国々だけで同盟を組み、他国への資源供給を制限して価格を操作するため | 3. ヨーロッパ諸国の植民地支配を継続させるために、旧宗主国と政治的な契約を結び直すため | 4. 州内の貿易を制限し、各国が独自の通貨や経済圏を完全に独立させて保護貿易を行うため |
|---|--|--|---|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 赤道直下の熱帯雨林気候から、南北に進むにつれて乾燥帯へと広がっていく。	アフリカ大陸の中央部を貫く赤道の周辺は、多雨な熱帯雨林気候となっています。ここから南北に離れるに従って、しだいに乾季のあるサバナ気候へと移り、さらに緯度が上がると回帰線付近を中心にサハラ砂漠やカラハリ砂漠などの広大な乾燥帯へと変化していくのがアフリカ州の大きな特徴です。
問2	<b>答え 1</b> 国際価格の変動や作物の不作が、国全体の経済に深刻な影響を及ぼしやすい。	特定の資源や農産物に依存している場合、それらの国際市場での取引価格が下落したり、天候不順によって収穫量が減ったりすると、国全体に入ってくる外貨が大幅に減ってしまいます。このように、自国の努力だけではコントロールできない外部要因によって経済が左右されやすい点が、モノカルチャー経済の大きな弱点です。
問3	<b>答え 1</b> 品種改良などによる単位面積あたりの収穫量の向上に加え、栽培面積が大幅に拡大したこと。	サハラ砂漠以南のアフリカで実施された稲作振興計画（CARD）では、米の生産量が短期間で倍増しました。この飛躍的な増加は、農業技術の普及による単位面積あたりの収穫量の向上も寄与していますが、それ以上に栽培面積自体が大きく拡大したことが決定的な要因となっています。統計資料からも、生産量の伸びと栽培面積の拡大が連動していることが読み取れます。
問4	<b>答え 1</b> 雨季には背の高い草が茂る草原となり、乾季になると野生動物が水や食料を求めて移動する。	サバナ気候では、雨季に成長する丈の長い草原（サバナ）に樹木がまばらに生える景観が見られます。乾季には草が枯れ水場が減少するため、ヌーやシマウマなどの野生動物は生き延びるために大規模な移動を行います。他の選択肢は、熱帯雨林気候（高床式）、砂漠気候（オアシス農業）、地中海性気候（果樹栽培）の説明です。
問5	<b>答え 1</b> 自助努力（オーナーシップ）	日本はアフリカ支援において、相手国が自立した経済発展を遂げることを重視しています。この「自らの手で国を発展させる」という姿勢を尊重する考え方を「自助努力（オーナーシップ）」と呼びます。TICADでは、この考え方と国際社会による「連帯（パートナーシップ）」が両輪として掲げられ、一方的な支援ではない協力体制が目指されています。
問6	<b>答え 1</b> エジプト	アフリカ大陸の北東部に位置するこの国は、北を地中海、東を紅海に囲まれています。アジア大陸と接するシナイ半島を有しており、地理的にアフリカとアジアを結ぶ重要な位置にあります。他の選択肢のうち、南アフリカ共和国は大陸の南端、ナイジェリアは西部のギニア湾沿い、ケニアは東部のインド洋沿いに位置しています。
問7	<b>答え 1</b> モノカルチャー経済と呼ばれ、天候不順や国際価格の変動によって国の経済が不安定になりやすい。	特定の農作物（エチオピアのコーヒー豆など）や資源の輸出に頼りすぎる経済をモノカルチャー経済といいます。この構造では、干ばつなどの自然災害で収穫が減ったり、国際市場での取引価格が下落したりすると、国全体の収入が激減してしまうというリスクがあります。アフリカ諸国では、産業の多角化によってこの状況から脱却することが大きな課題となっています。
問8	<b>答え 1</b> アフリカ州全体でまとまって紛争の解決や経済発展に取り組み、国際社会での影響力を高めるため	かつてのアフリカ統一機構（OAU）は、植民地からの独立を主な目的としていましたが、独立後の国々で発生する内戦や貧困といった問題に十分対応できないという課題がありました。そこでAUでは、EUのような高度な地域統合を目指し、平和維持軍の派遣などによる紛争解決への積極的な介入や、将来的な共通通貨の導入、関税の撤廃などを通じた経済圏の拡大を目標としています。これにより、アフリカ全体での自立と発展を目指しています。